

# JIS

## スポット及びプロジェクション溶接部の 現場試験方法

JIS Z 3144 : 2013

(JWES)

平成 25 年 3 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	粟飯原 周二	東京大学
(委員)	伊勢典浩	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	榎本正敏	一般社団法人軽金属溶接協会
	太田幸男	高圧ガス保安協会
	北田博重	一般財団法人日本海事協会
	吉良雅治	一般社団法人日本産業機械工業会
	下村孝	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	高田一	JFE テクノリサーチ株式会社
	竹本正	大阪大学名誉教授
	谷口元	社団法人日本建設業連合会 (株式会社竹中工務店)
	中田一博	大阪大学
	中野利彦	株式会社神戸製鋼所
	長谷川博	社団法人日本溶接協会
	山下泰生	株式会社神戸製鋼所
	山根敏	埼玉大学

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 8.10.20 改正：平成 25.3.21

官 報 公 示：平成 25.3.21

原 案 作 成 者：社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 溶接会館 TEL 03-5823-6324)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：溶接技術専門委員会 (委員長 粟飯原 周二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 試験の種類	2
5 試験材及び試験片	3
5.1 たがね試験用試験片	3
5.2 ピール試験用試験片	3
5.3 ねじり試験用試験片	3
5.4 試験片作製上の注意	4
6 試験方法	4
6.1 たがね試験	4
6.2 ピール試験	7
6.3 ねじり試験	8
7 破断形態の分類及び溶接径の測定	9
7.1 破断形態の分類	9
7.2 溶接径及びプラグ径の測定	9
8 記録	12
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	13
解 説	15

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本溶接協会 (JWES) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 3144:1996** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# スポット及びプロジェクション溶接部の 現場試験方法

## Routine test of resistance spot and projection welds

### 序文

この規格は、2006年に第2版として発行されたISO 10447を基とし、この改正されたISO規格との整合及び我が国の実情に合わせて変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

### 1 適用範囲

この規格は、板厚0.5 mm～3.2 mmの金属材料を2枚以上重ねて作製するスポット溶接部及びプロジェクション溶接部の溶接径、プラグ径及び破断形態を、たがね試験、ピール試験及びねじり試験の方法を利用し、工場の作業場及び試験場で日常的に調べる試験の方法について規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 10447:2006, Resistance welding—Peel and chisel testing of resistance spot and projection welds (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7507 ノギス

JIS Z 3001-1 溶接用語—第1部：一般

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS Z 3001-1によるほか、次による。

#### 3.1

##### 現場試験 (routine test)

工場の作業場又は試験場において日常的に使用する簡便な工具、器具などを利用して行う試験。

#### 3.2

##### 界面破断 (interface failure)

接合界面に沿ってナゲット内を横切って破断する形態。